

県内在来茶園のメチル化カテキン高含有個体			
[要約] 永源寺町政所地域の在来茶園には、既存煎茶用品種‘ふくみどり、おくみどり’と同等以上のメチル化カテキンを含む個体が認められる。			
農業総合センター・茶業指導所・茶振興担当		「実施期間」 平成15年度～16年度	
[部会] 農産	[分野] 高品質化技術	[予算区分] 県単	[成果分類] 研究

[背景・ねらい]

メチル化カテキン(EGCg3"Me)は、強い抗アレルギー作用を有することで注目されているが、本県の主要品種‘やぶきた’には全く含まれないなど、品種・系統による含有率の差異が大きい。一方、県内の在来茶園にはメチル化カテキンを多く含む個体が存在すると推察されるものの、近年の主産地における品種化の推進や小規模産地における担い手不足からその個体は減少しつつある。

そこで、県内在来茶園からメチル化カテキン高含有個体を検索する。

[成果の内容・特徴]

県内の在来茶園で生産された一番茶荒茶24点(甲賀市土山町10点、甲賀市信楽町9点、甲賀市甲南町2点、甲賀市水口町1点、永源寺町2点)のうち、永源寺町政所および土山町平子の荒茶にメチル化カテキンの含有が認められた(表1)。

メチル化カテキンの含有が認められた、永源寺町政所地域の茶園から選定した30個体のうち7個体には、主要煎茶用品種‘やぶきた’と同様、メチル化カテキンの含有は認められない(図1)。

メチル化カテキンの含有が認められた23個体のうち1個体は、既存煎茶用品種‘ふくみどり’や‘おくみどり’以上の高い含有率を有し、6個体は‘おくみどり’と同等の含有率を有する(図1)。

[成果の活用面・留意点]

メチル化カテキン高含有個体を保存し、継続調査を行う。

[具体的なデータ]

表1 県内在来茶園の一番茶荒茶におけるメチル化カテキン含有率（平成15年）

荒茶の生産地	メチル化カテキン含有率(%)
永源寺町政所	0.20
土山町平子	0.07
その他22検体	N.D.

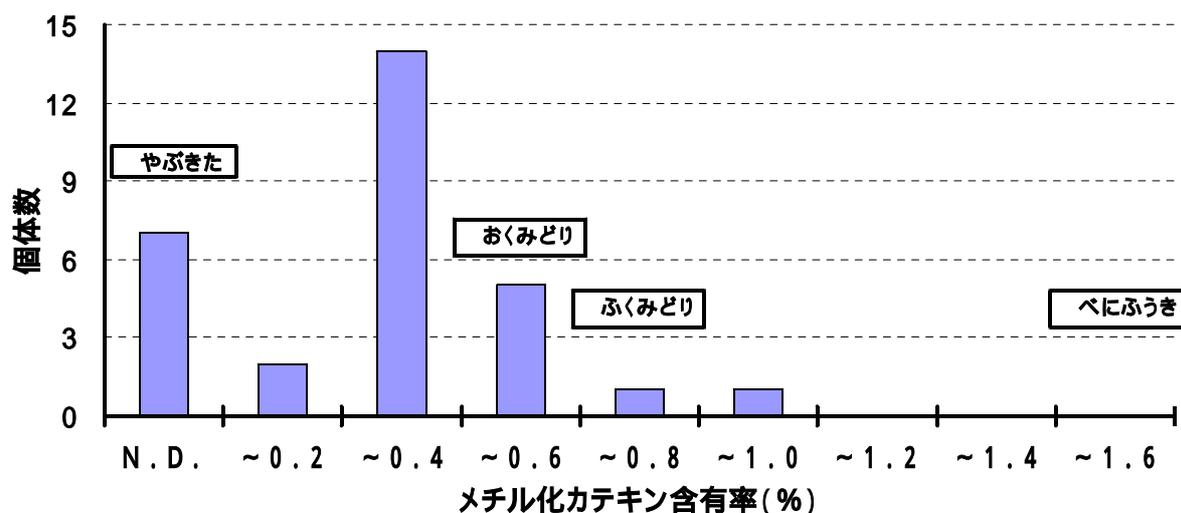


図1 永源寺町政所地域の調査茶園における秋芽の個体別メチル化カテキン含有率の頻度分布（平成16年）

注) 品種名 は当該品種のメチル化カテキン含有率が含まれる度数範囲を示す

[その他]

・研究課題名

大課題名：消費者等の多様なニーズに応える高品質・高付加価値化技術の開発

中課題名：安全・安心・高品質な農畜産物の生産技術の開発

・研究担当者

竹若与志一（H16）志和将一（H15）

・その他特記事項